

6 保育士の確保について

長野県の状況

●女性の社会進出や堅調な雇用情勢等に伴う保育ニーズへの対応

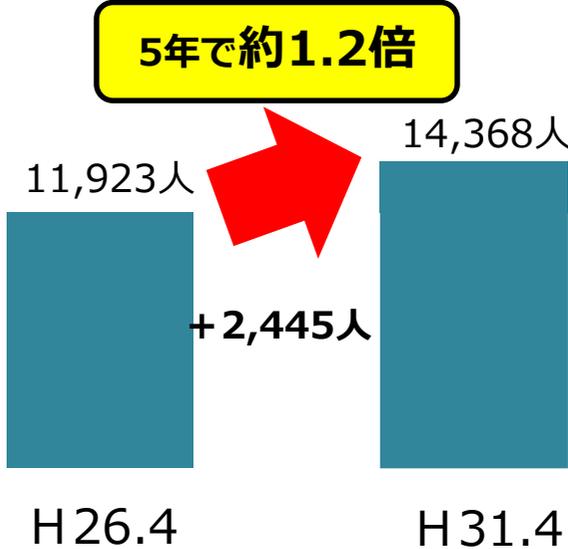
- ・長野県でも平成15年以來となる待機児童が発生（すべて3歳未満児）
46人（H29.10）、50人（H30.4）、101人（H30.10）、80人（H31.4）
- ・3歳未満児の保育ニーズが急増

取組

○市町村と協働し、様々な保育士確保策を実施

- ・保育士人材バンクの設置
（H30：登録保育士数 182人、保育事業者とのマッチング数 30人）
- ・待機児童が発生している地域に保育士人材バンクのコーディネーターを1名増員
⇒待機児童発生市の保育事業者へのマッチング強化
- ・国の保育士修学資金貸付事業を実施
⇒**修学資金を貸し付けた者の8割以上が県内保育所等へ就職**
（H31年3月養成校卒業生102人のうち82人）

長野県の3歳未満児の
申込児童数の状況



出典：厚生労働省「保育所待機児童数調査」

2,445人分の保育需要に応じるためには、
400人以上の保育士が新たに必要

課題

■ 県内の保育士養成校では定員を下回り、入学者が年々減少

H27 入学定員 670人 入学者 598人 (充足率89%)
H31 入学定員 640人 入学者 517人 (充足率81%) **81人減**

■ 卒業者も保育所等への就職が6割程度

保育士給与が全職種平均より10万円も低額であることが
保育士に魅力を感じない要因

保育士平均給与**23万円** (全職種平均給与**33万円**)
月額10万円の差! 出典：厚生労働省「H29年度賃金構造基本統計調査」

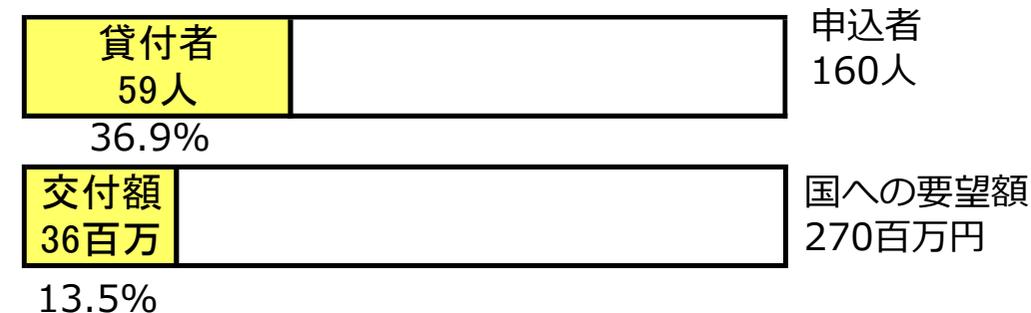
■ 保育士修学資金貸付事業は、保育士の県内就職率の向上に有効

しかし、**貸付原資が十分でないため、必要な対象者に貸し付けられず**
保育士確保に支障が生じる恐れがある

貸付を受けた養成校卒業者の
県内保育所等への**就職率80%以上**
(H31.3卒業者102人中82人が県内就職)

【貸付者数】 H29 102人 → H30 160人 → **H31 59人**

<H31 貸付の状況>



提案・要望

保育士の処遇改善のための財政措置

- ・ 保育士の給与等の更なる処遇改善を図り、そのために必要な財源措置を行うこと。
- ・ 保育士確保に有効な取組である、保育士修学資金貸付事業を強化し実施するため、必要な財源総額を継続確保すること。